

2017年3月期 第3四半期 決算説明資料

2017年2月28日



ご説明内容

- 2017年3月期 第3四半期決算概況
 - 2017年3月期 通期業績予想
- 【参考資料】
- 業績予想補足資料【2016年8月8日公表】

ご説明内容

- 2017年3月期 第3四半期決算概況
- 2017年3月期 通期業績予想

【参考資料】

- 業績予想補足資料【2016年8月8日公表】

2017年3月期第3四半期決算のポイント

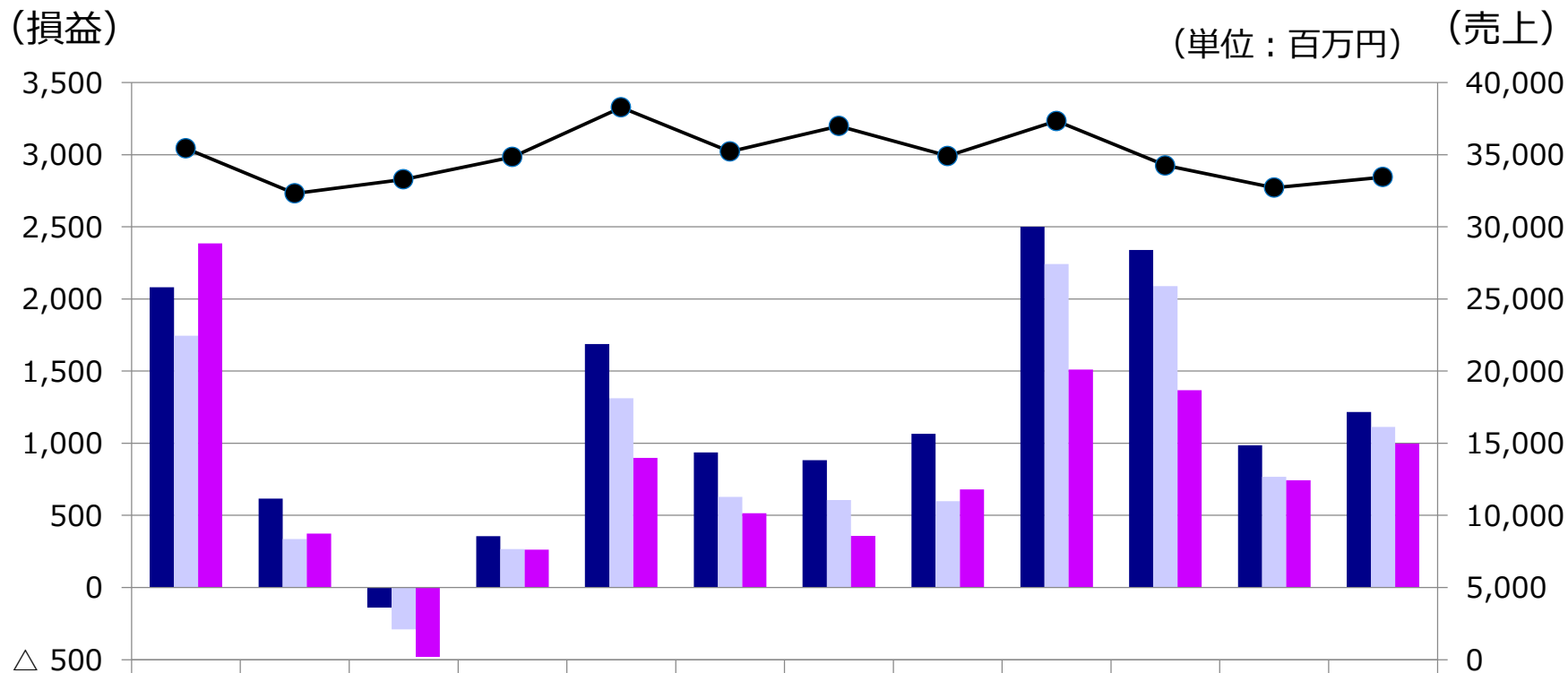
(単位：百万円)

	2016年3月期 第3四半期		2017年3月期 第3四半期		増減	
	金額	対前年	金額	対前年	金額	対前年
売上高	107,119	100.0%	100,429	100.0%	△6,690	△6.2%
営業利益	2,885	2.7%	4,542	4.5%	1,657	57.4%
経常利益	1,835	1.7%	3,970	4.0%	2,135	116.3%
四半期純利益	1,552	1.4%	3,110	3.1%	1,558	100.4%
EPS (円)	60.08円		120.36円		60.28円	

《全体感》

- 売上：受注量は増加。円高基調の為替相場、地金市況下落の影響で売上は減少
- 営業利益：北米の生産性改善、中国の原価低減、販売量増加により増益
- 経常利益：営業利益の増加及び支払利息・為替差損の減少により増益
- 四半期純利益：経常利益の増加及び固定資産売却益により増益
- EPS：四半期純利益の増加により、60.28円/株増加

連結決算概要（四半期推移）



	14/3 4Q	15/3 1Q	15/3 2Q	15/3 3Q	15/3 4Q	16/3 1Q	16/3 2Q	16/3 3Q	16/3 4Q	17/3 1Q	17/3 2Q	17/3 3Q
△ 営業損益	2,081	617	△ 139	355	1,688	936	883	1,066	2,500	2,340	986	1,216
△ 経常損益	1,746	336	△ 291	266	1,311	629	607	599	2,242	2,090	767	1,113
△ 当期純損益	2,385	374	△ 481	262	899	514	358	680	1,510	1,368	744	998
● 売上高	35,435	32,312	33,294	34,842	38,279	35,217	36,989	34,913	37,332	34,258	32,718	33,453

ダイカスト事業

(単位：百万円)

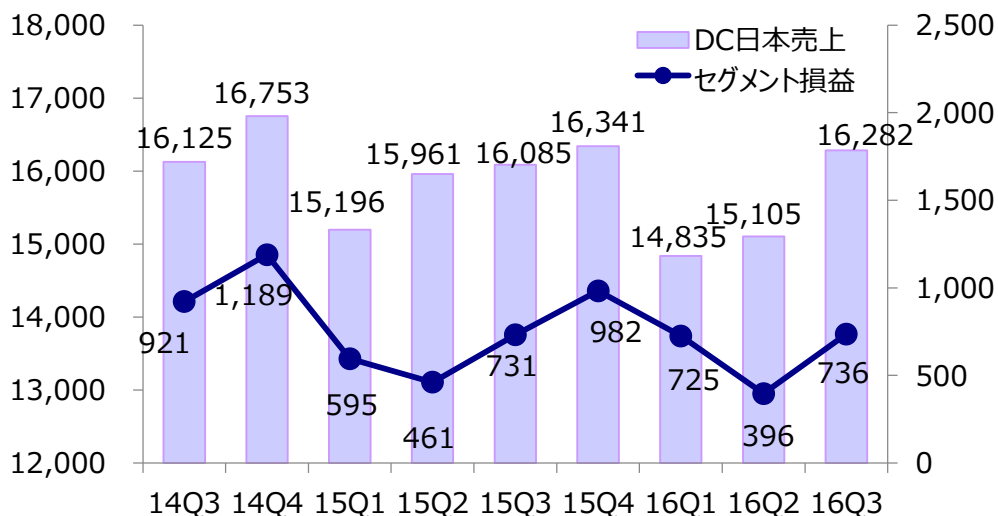
		2016年3月期 第3四半期		2017年3月期 第3四半期		増減	
日本	売上高	47,242	100.0%	46,222	100.0%	△1,020	△2.2%
	セグメント 損益	1,787	3.8%	1,857	4.0%	70	3.9%
北米	売上高	34,510	100.0%	30,789	100.0%	△3,721	△10.8%
	セグメント 損益	875	2.5%	1,531	5.0%	656	74.9%
アジア	売上高	20,102	100.0%	18,484	100.0%	△1,618	△8.0%
	セグメント 損益	5	0.0%	772	4.2%	767	—

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2016/3期3Q：53.6%⇒2017/3期3Q：51.6%

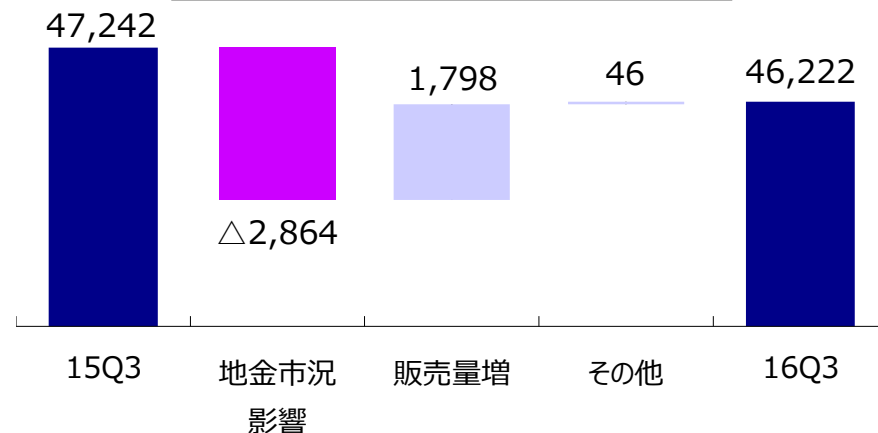
※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

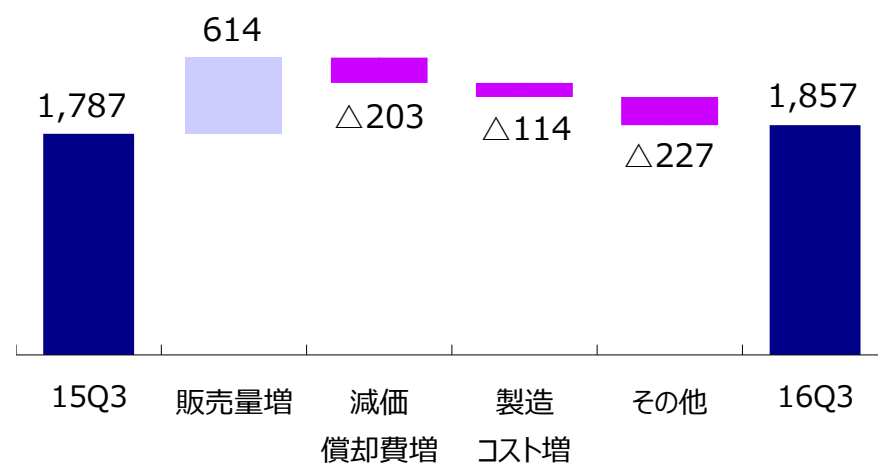
ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



売上高増減要因 (単位：百万円)



セグメント損益増減要因 (単位：百万円)



売上：10.2億円減（前年同期比2.2%減）

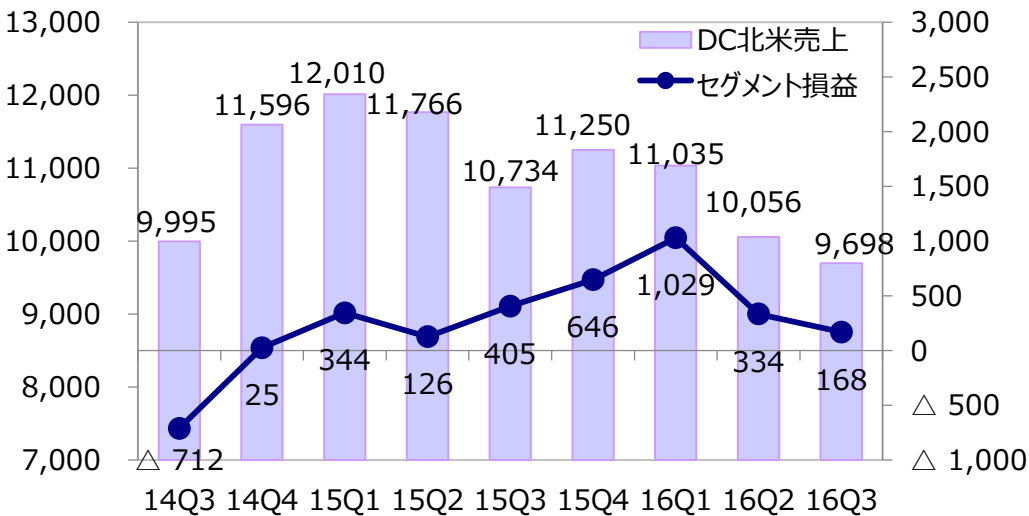
- 北米向け輸出は好調。受注量は増加（3.8%増）
- アルミ地金市況下落の影響で売上減少

セグメント損益：70百万円増（前年同期比3.9%増）

- 販売量増加により増益

ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



売上：37.2億円減（前年同期比10.8%減）

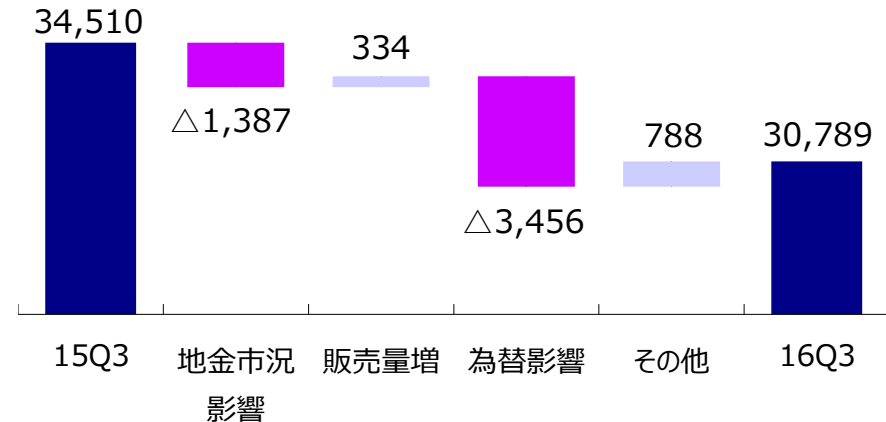
- ライトトラック系部品の受注が好調
- 一部顧客の生産終了に伴う受注減少
- 地金市況下落及び為替の影響で売上減少

セグメント損益：6.6億円増（前年同期比74.9%増）

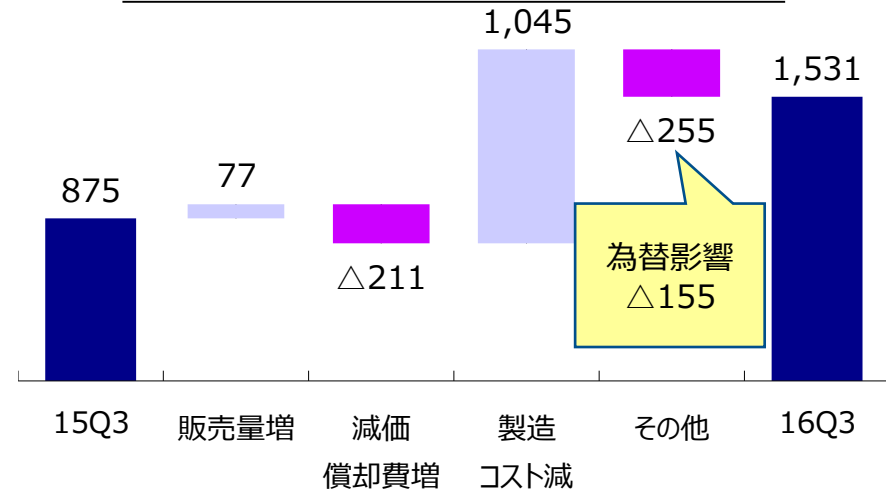
- 主にメキシコの生産性改善効果により製造コストが減少し増益

決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
 レート（15Q3⇒16Q3）アメリカ 121.49⇒108.09 メキシコ 120.87⇒110.02

売上高増減要因 (単位：百万円)

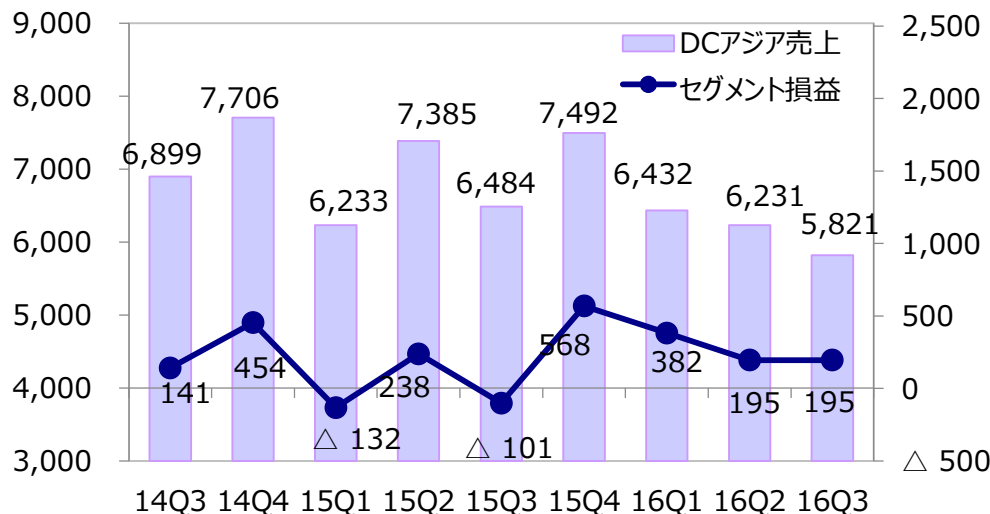


セグメント損益増減要因 (単位：百万円)

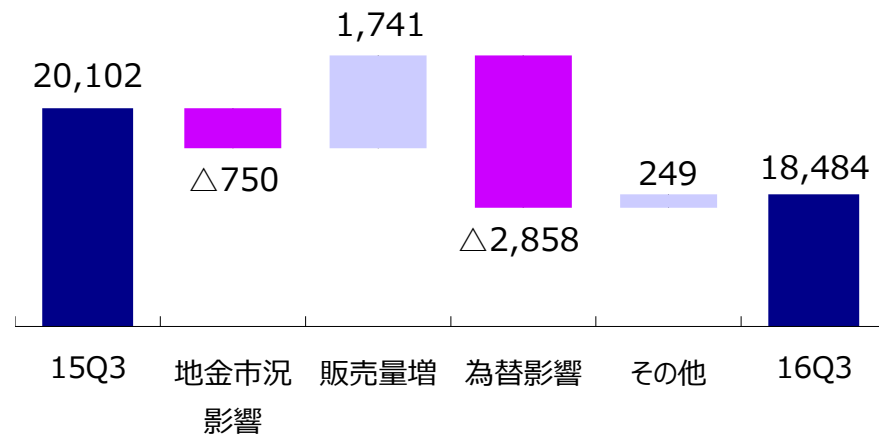


ダイカストアジア

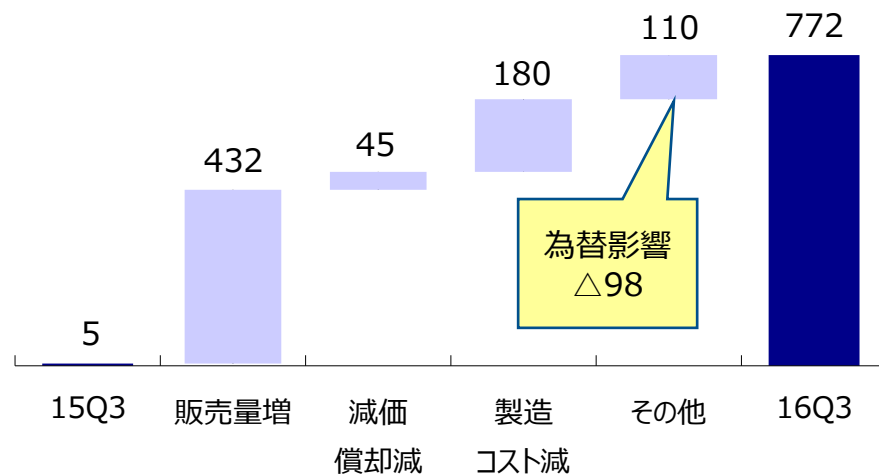
ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



売上：16.2億円減（前年同期比8.0%減）

- 地金市況下落及び為替の影響による売上減少
- 中国で小型車向け新規部品立上げにより受注増加
- インドでディーゼル車離れによる受注減少

セグメント損益：前年同期比 7.7億円増

- 中国における販売量増加と製造コスト低減により増益

決算期：中国12月期、インド3月期

レート（15Q3⇒16Q3） 人民元 19.32⇒16.68 インドルピー 1.88⇒1.61

アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2016年3月期 第3四半期		2017年3月期 第3四半期		増減	
アルミニウム事業	売上高	3,805	100.0%	3,222	100.0%	△583	△15.3%
	セグメント損益	229	6.0%	198	6.1%	△31	△13.6%
完成品事業	売上高	1,459	100.0%	1,710	100.0%	251	17.2%
	セグメント損益	59	4.0%	100	5.8%	41	67.0%

アルミニウム事業

- 売上：販売量は増加するが販売価格の下落により減収（前年同期比15.3%減）
- セグメント損益：原価低減活動効果はあったがアルミ市況影響により減益（前年同期比13.6%減）

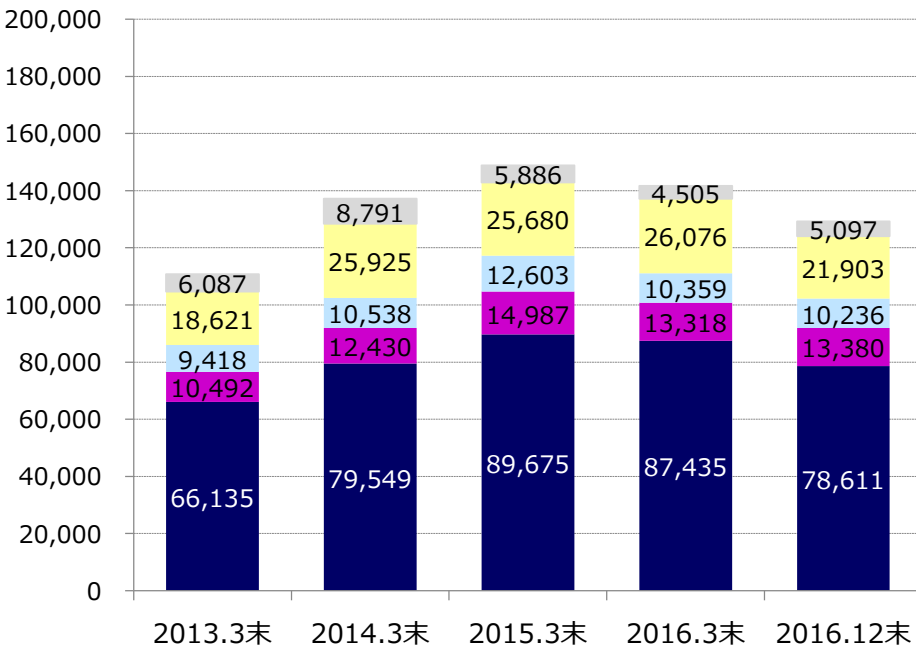
完成品事業

- 売上：半導体関連企業のクリーンルーム物件やコンピュータルーム物件の受注増加により増収（前年同期比17.2%増）
- セグメント損益：増収効果等により増益（前年同期比67.0%増）

連結貸借対照表

■ 資産の部

(単位：百万円)



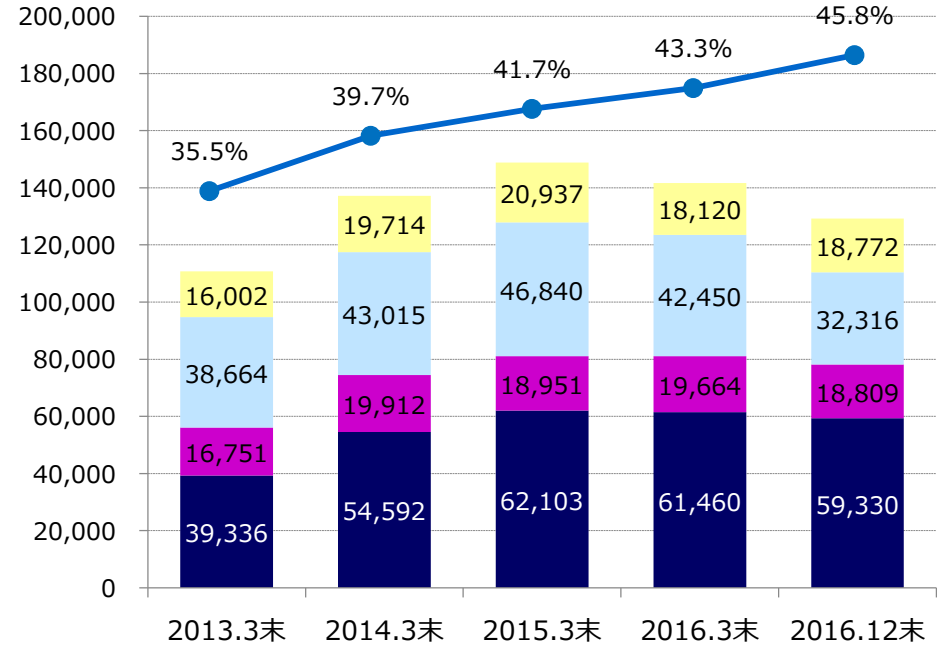
■ 現預金 ■ 売上債権 ■ 棚卸資産 ■ その他資産 ■ 有形無形固定資産

▶ 2016年3月末からの増減

為替影響：101億円減少⇒純増減：約23億の減少
 地金市況影響により原材料在庫が減少
 流動資産：約19億円純減
 (債権流動化、売上額の減少により売上債権が減少)
 固定資産：約4億円純減
 (有形固定資産：国内で純増、海外では減価償却が進み減少)

■ 負債の部

(単位：百万円)

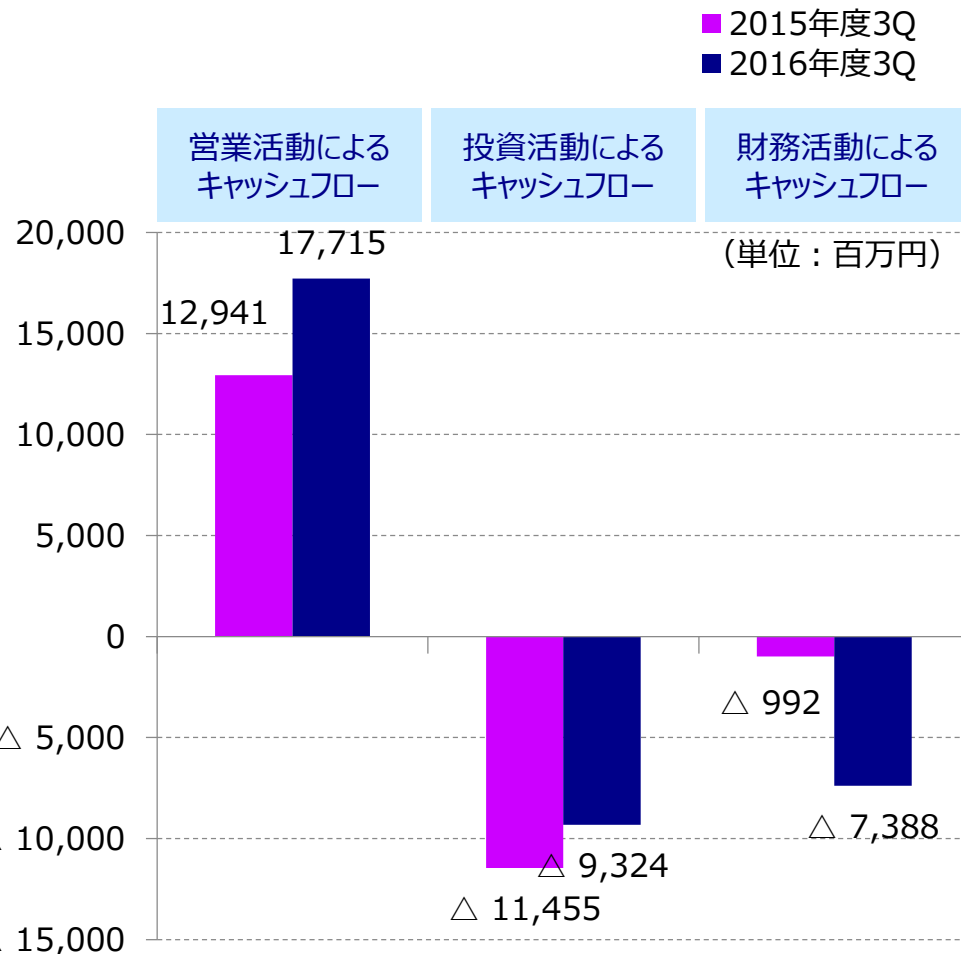


● 自己資本比率
 ■ 仕入債務 ■ 長短借入金 ■ その他負債 ■ 純資産

▶ 2016年3月末からの増減

負債：為替影響：約43億円の減少⇒純増減：約60億円の減少
 流動負債で約20億円純減、固定負債で約40億円純減
 (長短有利子負債の減少)
 純資産：当期純利益等により約27億円増加、為替換算調整勘定の△57億円となり21億円の純減
 自己資本比率：45.8%となり2.5ポイント改善

連結キャッシュ・フロー



対前年同四半期増減要因

- **営業CF +47億**
税金等調整前純利益 +24億
売上債権の増減額 +24億
債権流動化等による増加
- **投資CF △21億**
国内で富士重工向け設備投資で増加
海外では設備投資は減少
投資計画が遅れていることもあり来期へ先送りの可能性あり
- **財務CF +64億**
フリーキャッシュフローが増加したことにより
長短借入金の返済が進む

2016年度業績予想

(単位：百万円)

	2015年度		2016年度 期初計画(5/9)		2016年度 修正計画(8/8)		対期初計画増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	144,451	100%	136,000	100%	134,400	100%	△1,600	△1.2%
営業利益	5,385	3.7%	5,500	4.0%	6,000	4.5%	500	9.1%
経常利益	4,077	2.8%	4,700	3.5%	5,200	3.9%	500	10.6%
当期純利益	3,062	2.1%	3,100	2.3%	3,750	2.8%	650	21.0%
EPS	118.50		119.94		145.09		—	

売上高

- 日本、米国、中国の受注は期初計画通りの水準又は増加を見込む。
- メキシコで生産終了による受注減、インドでディーゼル車の販売量減少による受注減を予想。
- 地金市況下落の影響、想定為替レートの変更による影響により連結売上高は当初計画を下回る。

営業利益

- 原価低減効果、販売増による効果により増益

期初計画の前提レート (5/9) : USD 110円 人民元 17.0円 ルピー 1.7円

修正計画の前提レート (8/8) : USD 105円 人民元 16.0円 ルピー 1.6円 (7月以降)

- 2017年3月期 第3四半期決算概況
- 2017年3月期 通期業績予想

【参考資料】

- **業績予想補足資料【2016年8月8日公表】**

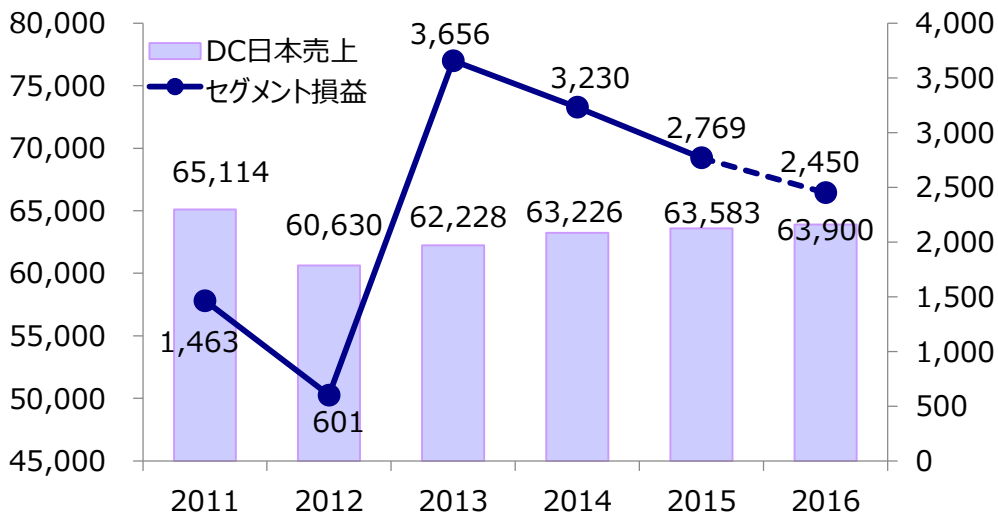
2016年度業績予想

(単位：百万円)

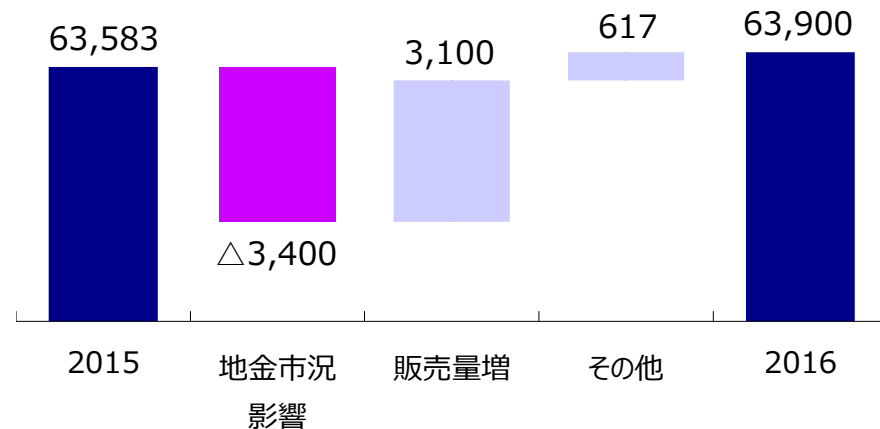
	2015年度 実績	2016年度 期初計画	2016年度 8/8修正計画	対期初計画 増減	対期初計画 増減率
売上高	144,451	136,000	134,400	△1,600	△1.2%
ダイカスト日本	63,583	63,900	63,900	－	－
ダイカスト北米	45,760	39,400	38,600	△800	△2.0%
ダイカストアジア	27,594	26,200	25,400	△800	△3.1%
アルミニウム	4,921	4,300	4,300	－	－
完成品	2,590	2,200	2,200	－	－
営業利益	5,385	5,500	6,000	500	9.1%
ダイカスト日本	2,769	2,300	2,450	150	6.5%
ダイカスト北米	1,521	2,200	2,250	50	2.3%
ダイカストアジア	573	700	1,000	300	42.9%
アルミニウム	338	200	200	－	－
完成品	212	100	100	－	－
消去または全社	△30	－	－	－	－
経常利益	4,077	4,700	5,200	500	10.6%
当期純利益	3,062	3,100	3,750	650	21.0%

ダイカスト日本

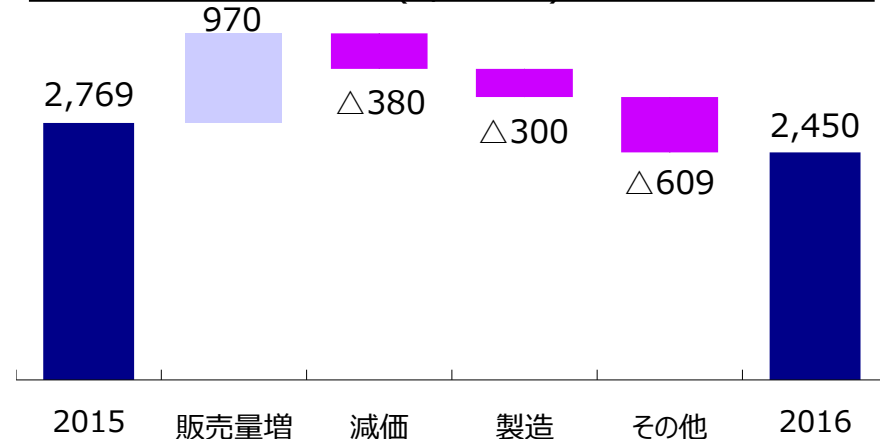
ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



対期初増減 $\Delta 1,090$ 400 690 0
売上高増減予測(8/8修正) (単位：百万円)



セグメント損益増減予測(8/8修正) (単位：百万円)



対期初増減 130 50 0 $\Delta 30$ 150

売上：639億円

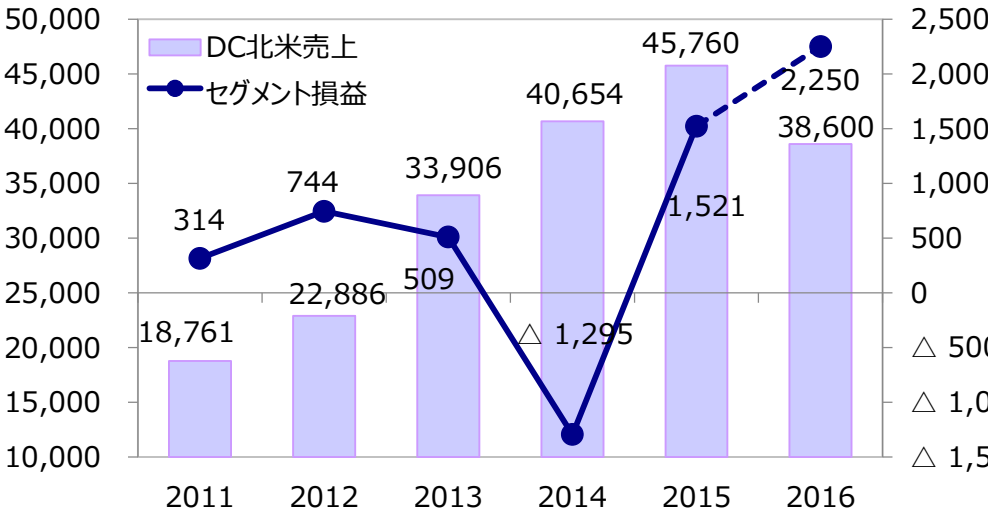
- 販売量は期初計画を上回る水準
- 地金市況は期初計画よりも下落する予測

セグメント損益：24.5億円 (対期初計画6.5%増)

- 販売量の増加効果により期初予測を上回る予測

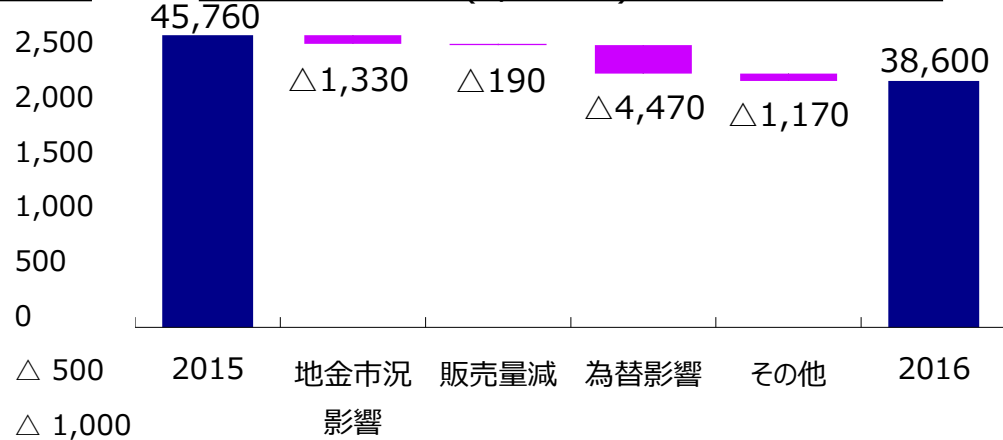
ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高/セグメント損益の推移 (単位: 百万円)

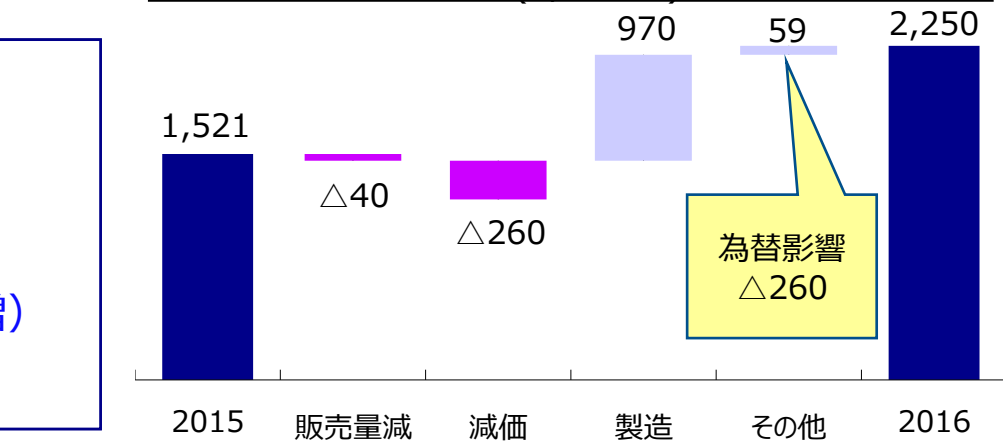


対期初増減 190 △500 △710 220 △800

売上高増減予測(8/8修正) (単位: 百万円)



セグメント損益増減予測(8/8修正) (単位: 百万円)



対期初増減 △110 90 70 0 50

売上: 386億円 (対期初計画 2%減)

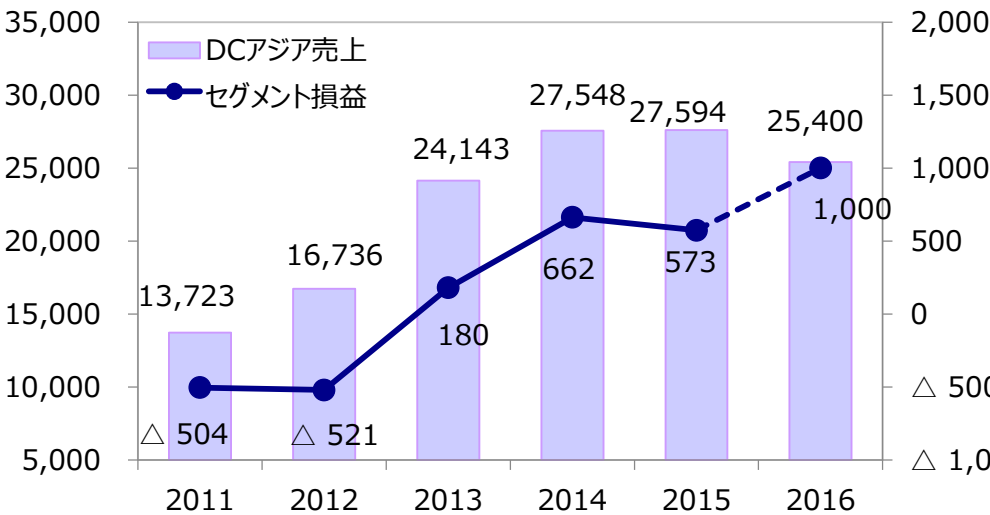
- アメリカの販売量は期初計画を上回る水準
- メキシコでの販売量減少
- 円高進行による為替影響

セグメント損益: 22.5億円 (対期初計画2.3%増)

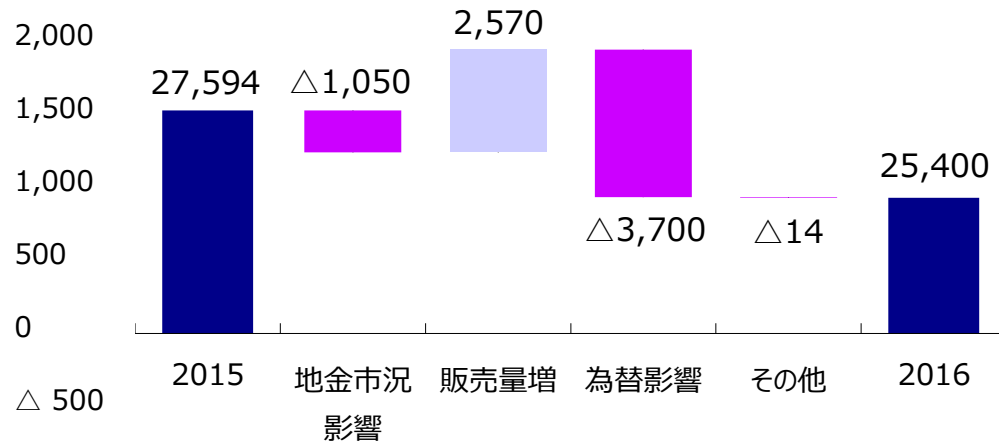
- アメリカ・メキシコの原価低減効果

ダイカストアジア

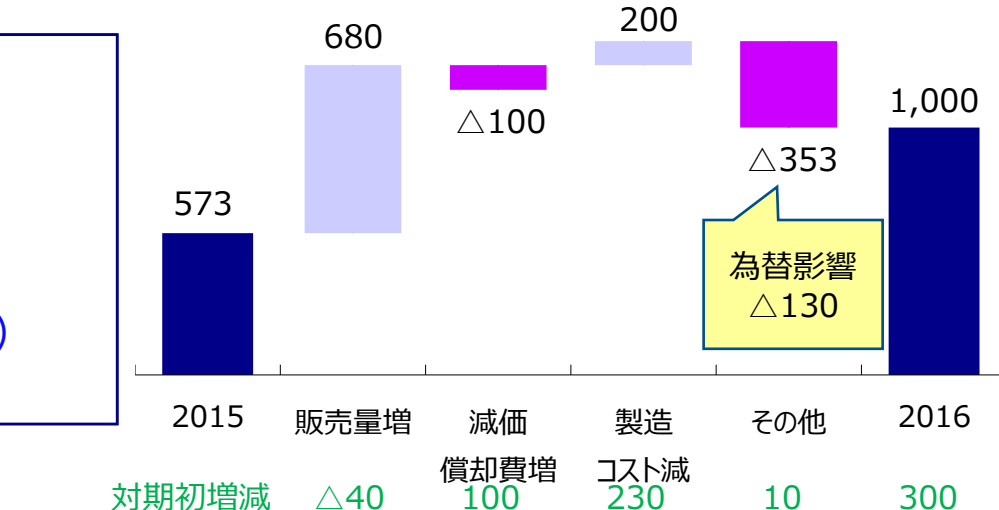
ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



対期初増減 0 △160 △580 △60 △800
売上高増減予測(8/8修正)（単位：百万円）



△ 500 △ 1,000
セグメント損益増減予測(8/8修正)（単位：百万円）



対期初増減 △40 100 230 10 300

売上：254億円（対期初計画 3%減）

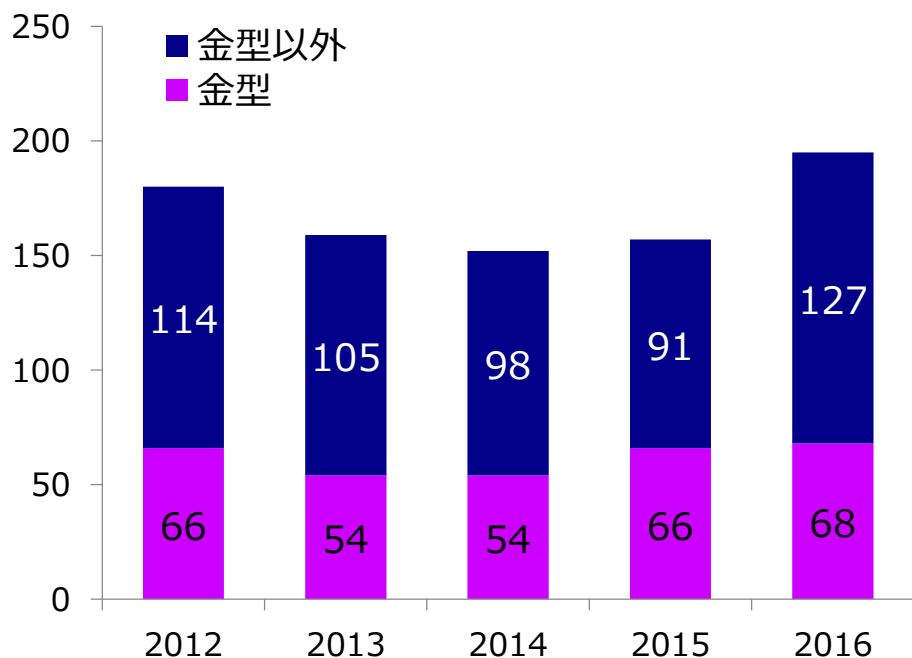
- 中国：販売量は期初計画通りの水準
- インド：販売量は期初計画より減少
- 円高進行による為替影響

セグメント損益：10億円（対期初計画42.9%増）

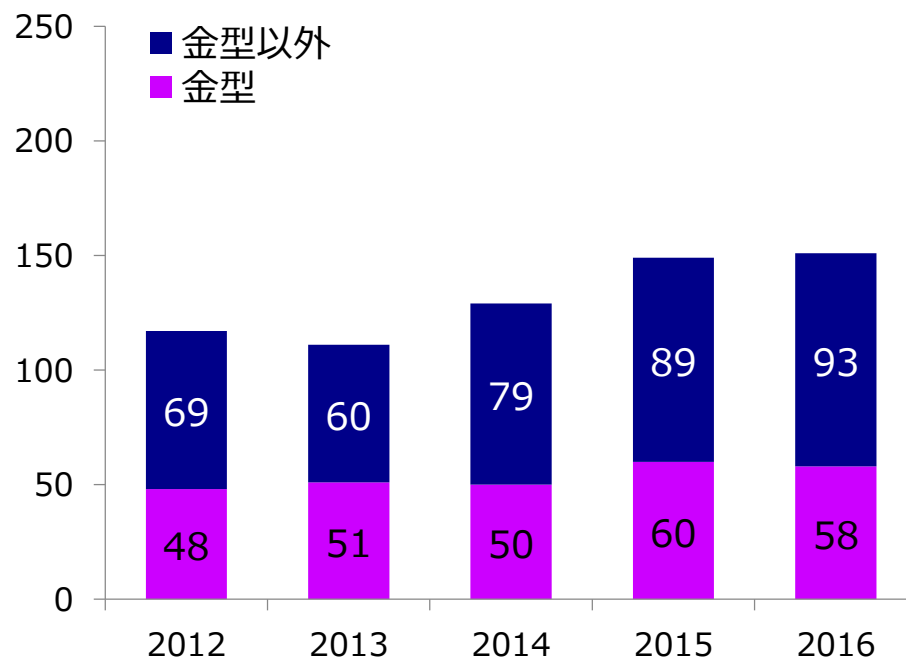
- 中国での販売量増加及び原価低減効果

設備投資・減価償却の動向

設備投資額の推移（単位：億円）



減価償却費の推移（単位：億円）



2016年度

- 投資内容 ダイカスト：能力維持、合理化投資を中心 加工：海外拠点の能力拡充投資を中心
- 設備投資金額：合計195億円（一般設備投資 127億円、金型投資 68億円）

配当

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 予想
1株当たり配当金					
(年間)	3	14	12	14	16
中間配当	3	8	6	6	8
期末配当	—	6	6	8	8
1株当たり純損益(連結)	△7.76	287.10	40.85	118.50	145.09
配当性向(連結)	—	4.9%	29.4%	11.8%	11.0%

- 2015年度は、期初計画の業績を達成できたため、期末配当を2円増配し年間14円の配当を実施
- 2016年度は、年間16円の配当を予想
- 中長期的な企業成長に必要な経営基盤や配当性向等を勘案し適正な利益還元を推進

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MPO_IR@ahresty.com

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。